



▲顔の大きさなら室伏さんに負けていません！

夏本番！太陽が眩しい季節。プールで遊ぶ子どもたちの笑顔も水しぶきとともにキラキラ輝いています。

6月8日にライマ姉妹都市協会の訪問団が来町しました。1999年の姉妹都市提携締結以来、親交を深めてきましたが、ここ数年はコロナ禍により十分な交流ができていませんでした。5年ぶりとなる今回の来町で、ホストファミリーの家にホームステイし、絆を深めることができたと思います。別れ際、輝く一筋の涙が印象的でした。このような小さな交流が世界の平和につながることを祈ります。

ですが、世界において、戦争は絶えません。もし、世界中の人がみんな輝く笑顔で暮らせば、争いはなくなるはず。輝く笑顔に国境はありません。

私たちにとってもこの季節は、平和の大切さを再確認する特別な時期です。戦争の犠牲者を追悼するとともに、輝く未来に平和を引き継がなければなりません。

また、平和の象徴として、世界的なスポーツイベント「オリンピック」があります。先月、国への要望活動で文部科学省を訪れた折に、アテネオリンピックの金メダリスト、室伏広治スポーツ庁長官にお会いし、総合型スポーツクラブと連携した部活動の地域移行について意見交換させていただきました。金メダリストから輝き放たれるオーラに、圧倒されるばかりでしたが、播磨町の現状と課題、将来のビジョンについて夢中で説明しました。その中で、室伏長官に、播磨町の目指すべき方向性に強い共感を持っていただくことができました。

まちづくりにおいて大切なことは、まちのそこそこに埋もれている「輝く可能性のあるもの」を見つけ出し、みんなで磨き上げていくことだと思います。そして、播磨町が、世界一の輝きを放つ「金メダルのまち」になるよう皆さまとともにこのまちを磨き上げていきたいと思えます。

播磨町長 佐伯 謙作



保健師だより おおんきですか？

子どもたちの笑顔を守るために

あなたの周りの子どもたちや子育て中の人で、「ちょっと困って」「いそいだな」と思われることはありませんか。

子どもたちが笑顔で過ごせるには、保護者だけでなく、周りの大人の笑顔が大切。あなたのできる第一歩を踏み出してみませんか。

子どもたちの安心した存在になるために、まずは、あいさつから

子どもたちにとって、ふだんから顔を知っている人、声をかけてもらえる人は安心できる存在で、自分が困ったときに助けを求められる存在になります。

まずは笑顔で「おはよう」「こんにちは」とあいさつしてみてください

誰でも、仕事や生活に余裕がないとき、頼れる人や相談できる人がいないとき、体調が悪いときなど、イライラすることや気持ちがいそいだくなることもあると思います。

その気持ちを周りにうまく出せずに、子どもたちにあたり散らしたり、手が出てしまうことも…。子どもたちに矛先が向かっていくような様子を見られた場合には、おせっかいかもしれないですが、「お手伝いできることはありませんか」と一声かけてみてください。

色んな人がおせっかいの種をまくことで、いつか「助けて」とSOSを出せるようになることがあるかもしれません。

困ったときは役場に相談を

困っている内容によっては、サービス等をご紹介できることもあります。

また、しんどいときはちょっと人に話してみるとスッキリすることもある。しんどい気持ちがこぼれ落ちる前に、まずはご連絡ください。

☎ 問 ども課家庭支援係
079-435-2362

楽屋裏

今月の表紙の写真は、播磨小学校の水泳の授業の様子です。2年生も5年生も楽しそうで、笑顔がいっぱい輝いていました。水泳が嫌いだった私と大違いです。昭和の小学生は、学校の授業で初めて泳ぎを教わる子どもがほとんどでした。夏休みも学校に通ってプールの補習授業があったので、とても憂鬱でした。

播磨町では、夏休みに播磨小学校と連池小学校のプールが一般開放されます。詳しくはホームページをご覧ください。

学校プール開放



学校プール開放

きゅんぽすだより

兵庫県立東はりま特別支援学校 中学部2年生

宿泊学習

6月8日～9日、中学部2年生は宿泊学習に行ってきました。

1日目、出発式を終え、播磨中央公園のさいくるらんどに向かいました。生徒たちは、自分で好きな自転車を選び、ひとりコースを回ったり、友だちと力を合わせてペダルを漕いだりして楽しく充実した時間を過ごしました。

宿泊先の「西脇市立青年の家」では、食事係、清掃係、寝具係に分かれ、一人一人が責任をもって係の仕事に取り組みました。夕食

後の入浴は、広いお風呂にみんな大興奮。気持ちよさそうに湯船に浸かる姿が見られました。就寝準備は、友だちと協力して布団やシーツを敷きました。日中、全力で活動したこともあり、ほとんどの生徒が、布団に入るとすぐに眠りにつきましました。

2日目は、テラ・ドームに行きました。テラ・ドームでは、プラネタリウムを見たり、段ボールで制作された家や車等の展示物を見たりして、体験型学習を行いました。

2日間を通して、たくさん楽しかったが、友だちと共に助け合って生活することの大切さや楽しさも学ぶことができました。

この宿泊学習で学んだことを日々の生活でも生かし、さらなる成長に繋がってほしいと思います。



▲サイクルランド



▲就寝準備

2日間を通して、たくさん楽しかったが、友だちと共に助け合って生活することの大切さや楽しさも学ぶことができました。

この宿泊学習で学んだことを日々の生活でも生かし、さらなる成長に繋がってほしいと思います。

地域での活動を再開するために

新型コロナウイルスの5類移行に伴い、地域での活動が徐々に再開しています。過去の取り組みを再開する場合同じく、開催方法や内容をリニューアルして実施するものや、全く新しい取り組みをはじめめる場合など、取り組み方は地域によって様々です。例えば、南部コミセン区では、自治会長と民生児童委員の皆さんが集まって、「これからの地域での見守り」について話し合いを始めました（南部イレブン協働の会）。民生児童委員の担当区域は自治会区域をまたがっていることもあり、1人の民生児童委員で複数の自治会を担当することもあります。1年任期の自治会役員が多くなり、民生児童委員と自治会役員で顔を合わせることが減っていることからつながり作りのために開催されたようです。



▲南部イレブン協働の会

【まちづくりアドバイザーとは】 播磨町では、多様化・複雑化する地域の課題やニーズに、より細かく対応するため、2020年度より「まちづくりアドバイザー」を配置しています。自治会活動やコミュニティ活動、自主的なまちづくり活動について専門的な視点から支援します。

まちづくりアドバイザーがお届けする
まちアド通信
協働推進課住民協働係
☎ 079-435-2364